

支え合いのまち 稲毛



稲毛区支え合いのまち推進協議会だより No. 21

平成28年12月26日発行

編集: 稲毛区支え合いのまち推進協議会事務局

稲毛区穴川 4-12-4 (稲毛保健福祉センター内)

TEL: 284-6141 FAX: 284-6193

Pickup!

ご存知ですか? 子ども食堂



参加の子どもも一緒におかず作りに挑戦! (とどろきっこ食堂にて)

「子ども食堂」は、経済的な理由などから家庭内で十分な食事をとることができない子どもたちを支援することを目的として、一食あたり無料～数百円ほどの設定で、温かく栄養バランスのとれた食事を提供する活動として全国的な広がりを見せ、近年注目を集めている活動です。

稲毛区においても、
「子ども食堂“空いろ”」(轟町で活動)
「子ども食堂 といろ」(園生町で活動)
「さきくさ倶楽部」(千草台で活動)
「とどろきっこ食堂」(轟町で活動)
の4つの団体が活動をしています。

(参照: 千葉市子ども食堂ネットワーク HP)

「とどろきっこ食堂」を見学させていただいた際には、子どもたちの他にも地域の高齢者やボランティアとして参加している大学生など、さまざまな年齢層の方が楽しく食事をとっており、食後には外で昔遊びや縄跳びなどで楽しく交流していました。

「子ども食堂」の取り組みは、経済的な理由などから家庭内で十分な食事をとることができない子どもの支援のみならず、地域の異世代間交流や居場所づくり、地域で活動するボランティアの交流や連携の場となるなど、これから新たな地域活動として広がりを見せています。

- 「子ども食堂“空いろ”」電話 090-2450-0647 担当: そうだんカフェ 吉田
- 「子ども食堂 といろ」連絡先: ing.kdr.toiro@gmail.com もしくはフェイスブックにて
- 「さきくさ倶楽部」連絡先: sakikusaclub@hotmail.com もしくはフェイスブックにて
- 「とどろきっこ食堂」電話 043-207-7070 (平日 9 時～18 時) 担当: 金田



いただきます! (といろの食事)

こどもカフェ

こどもカフェは、地域が主役となって、市や大学・学生などさまざまな主体が連携しながら運営する、子どもの居場所です。子どもたちにとって居心地が良く、落ち着くことができる「身近なカフェ」のような場所で、信頼できる大人が見守る中で異年齢の子どもたちが一緒に遊び、そして学びながら、子どもが育つことができる場所を目指しています。(千葉市こども未来局こども未来部こども企画課 HP より抜粋)

稲毛区においては「こどもカフェ園生」として NPO VAIC (バイク) コミュニティケア研究所が運営しており、火曜日と木曜日を中心に月 6～8 日ほどの頻度で開催しています。

電話 043-290-8015 (VAIC コミュニティケア研究所)

携帯型安心カードの普及

～稲丘地区部会エリアの事例～

千葉市では、主にひとり暮らしの高齢者の方々の万が一の事態に備えて、既往症やかかりつけの医師、普段飲んでいる薬や緊急連絡先などを記載した安心カードの配布と利用の呼びかけを進めています。

これは主に住居の中で倒れてしまったときに、救急隊員やご近所の方が素早く対応できるよう、冷蔵庫の扉に掲示したり、密閉容器に入れて冷蔵庫内に保管したりして活用するものです。

この方式は住居内での対応では非常に効果的ですが、外出時には対応がしにくいいため、携帯型の安心カードの普及に取り組んでいる地域もあり、今回はそのひとつである稲丘地区部会エリアの「携帯型安心カード」をご紹介します。

携帯型安心カードはその名のとおり、名刺ほどの大きさのカードに氏名や住所、生年月日、緊急時の連絡先などを記載して、透明ケースに収納して常時携帯するものです（上の画像を参照）。

稲丘地区部会エリアでは、この携帯型安心カードと収納ケースを、敬老会の招待状（75歳以上の高齢者が対象）とともに配布し、活用を促すことによって、地域の中でより安心して暮らせるよう取り組んでいます。



携帯型安心カードの使用例（稲丘地区）



地域内団体との協働 緑ンピック

～緑が丘地区部会エリアの事例～

地域の中での交流イベントとして、夏まつりや運動会など、様々なものが考えられますが、地域内の多数の団体が共同で開催するもので、今年度で開催12回目となる、緑が丘地区部会エリアの「緑ンピック」をご紹介します。

主催は緑が丘中学校区の青少年育成委員会で、まちづくり推進会議と緑が丘地区部会が後援。

また、地域内の青少年相談員、青少年補導員、町内自治会連絡協議会、民生委員児童委員協議会、スポーツ推進委員、学校（地域内小・中・高校の計4校）、ふる里づくり祭りの会 宮長、人形劇の『かたしろ』、郷土歴史クラブ、ファミリー文庫クラブ、宮野木囲碁同好会、宮野木将棋の会の、計16の団体の協働によって企画運営されています。

会場は地域内の宮野木小学校と柏台小学校を毎年交替で開催し、今年は宮野木小学校で開催されました。

校庭と体育館内でスポーツイベントや昔遊び、囲碁将棋や地区の歴史紹介、地区部会コーナーでは社協マスコットキャラのハーティちゃんと子どもたちの交流などで賑っています。

このイベントは、企画運営に携わる地域内の各種団体が協働しながら、子どもたちだけの参加や小さなお子さんを連れた親子、地区内の高齢者の方々など、異世代間交流している様子が見て取れるものです。



いざ対局！